

平成10年度 土砂災害防止月間の実施について



発行
建設省
富士砂防工事事務所
富士宮市三園平1100
電話(0544)27-5221

土砂災害防止月間

6月1日(月)～6月30日(火) 「みんなで防ごう 土砂災害」

建設省は、昭和58年度より、土砂災害防止に対する国民の理解と関心を深めるとともに、土砂災害に関する防災知識の普及、警戒避難体制整備の促進等の運動を推進し、土砂災害による人命、財産の被害の防止に資するため、「土砂災害防止月間」を創設し、以来、「みんなで防ごう土砂災害」をテーマに全国の都道府県等で土砂災害防止に向け、広報活動の推進、土砂災害防止功勞者の表彰、土砂災害に関する絵画・ポスター・作文の募集を行うとともに、各地で講演会、見学会の開催、危険箇所の周知、点検、避難訓練等の各種行事を実施しています。

平成10年度の土砂災害防止月間は、従来から実施している各種行事に加え、一昨年の12・6浦原沢土石流災害(工事関係者14人死亡)や、昨年の針原川土石流災害(死者21人)等の土砂災害により、依然として尊い人命や貴重な財産が奪われていることに鑑み、土砂災害の危険区域及びその周辺に居住する住民の方々に対して、きめ細かく情報を提供するため、ダイレクトメール等の分かりやすい方法による情報提供を行うことを重点に取り組みます。

かけ崩れ防災週間

6月1日(月)から6月7日(日)までの一週間を「かけ崩れ災害の防止に重点を置いた運動を実施します。」



土砂災害危険箇所のお知らせ!!

平成9年は、5月11日に秋田県鹿角市熊沢川(旅館など16棟流失・犠牲者なし)や、7月10日に鹿児島県出水市針原川(死者21人)での土石流災害など、大規模な土砂災害が多発しました。富士砂防工事事務所管内においても、大沢川で6月20日の台風7号による25万立方メートルの土石流の発生や、11月26日の15万立方メートルの土砂流の発生などがありました。さいわいにも砂防施設の効果などにより、一般家屋にまで被害を受けることはありませんでしたが、大規模な土石流が発生した場合には、被害が発生することも予想されます。

今後の梅雨期等を控え、土砂災害の危険区域及びその周辺にお住まいの方々に(下記)のお知らせにて危険箇所の周知を図りますので、いざという場合の警戒避難の備えとして下さい。



土砂災害の危険のある溪流

土砂災害についてのお知らせ

あなたのお住まいになっている所は、土砂災害が発生した場合、被害を受ける可能性のある危険区域内にあるとともに、平成10年3月に実施した土砂災害危険箇所の総点検の結果、緊急防災対策が必要な所となっていますのでお知らせします。大雨の場合や消防団等から避難の連絡があった場合は速やかに最寄りの指定避難地へ避難して下さい。

警戒・避難のための心構え

●雨に注意していますか?

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。一般に1時間に20ミリ以上、または降り始めてから100ミリ以上になったら十分な注意が必要です。



●避難場所は決まっていますか?

普段から家族全員で避難場所や避難する道順を決めておきましょう。



●逃げ方を知っていますか?

土石流はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して、直角に逃げるようにしましょう。



こんな前ぶれがあったら、早めの避難!

土石流の前ぶれ

- 山崩りや、立木の裂ける音、石のぶつかりあう音が聞こえる。
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。
- 川の水が急に濁ったり、流木が混ざりはじめる。



河川氾濫の前ぶれ

- けがらの水が高まる。
- けがれに亀裂が入る。
- 小石がバラバラ落ちてくる。

崖すべり前ぶれ

- 地面にひび割れができる。
- 沢や井戸の水が高まる。
- 斜面から水が吹き出す。



平成10年6月1日

〇〇市 (0000-00-0000)
 静岡県富士土木事務所長 (0545-65-2227)
 建設省富士砂防工事事務所長 (0544-27-5221)

●なお、緊急時または土砂災害についてお気づきのことがあれば
 〇〇市役所・〇〇課まで連絡して下さい。

養浜箇所

平成10年度 富士砂防工事事務所 事業概要

■事業費（当初予算）

平成10年度事業費 2,687百万円
 平成9年度事業費 3,161百万円
 対前年比 0.850
 ※調査費を含みます。

■主要事項

1. 大沢崩れ対策

- ・昨年2回にわたり発生した土石流等に対し効果を発揮した大沢川扇状地砂防設備の内、大沢沈砂地工を完成させます。
- ・また、上流大沢源頭域では大沢崩れ対策調査工事を継続実施します。

2. 南西野溪対策

- ・猪の窪沈砂地工、弓沢沈砂地工を完成させます。
- ・須津川ダム工群などの南西野溪の砂防工事を継続実施します。
- ・溜野沢、大久保沢などの用地取得を継続実施します。

3. 技術開発

- ・大沢崩れの源頭域など、山間急傾斜地における自然環境に配慮した軌道方式の建設資材等輸送方法（富士 HEART システム）の実用化試験を弓沢第3ダムにおいて継続実施します。

4. 情報基盤、安全管理システムの整備

- ・土石流やスラッシュ雪崩等による被害を未然に防ぐため監視カメラや警報装置等を大沢川扇状地、風祭沈砂地工、足取沈砂地工に設置します。

5. その他

- ・砂防事業と海岸事業が連携することにより、大沢扇状地堆積土砂を富士海岸緊急侵食対策（動的養浜）へ利用し、事業の効率的執行を図ります。



平成10年度 当初予算での工事予定箇所 ①～⑥

	工事名	溪流名
①	大沢川沈砂地工工事	大沢川
②	猪の窪沈砂地工工事	猪窪川
③	弓沢沈砂地工工事	弓沢川
④	須津ダム工群工事	須津川
⑤	富士山源頭部調査工事	富士川
⑥	富士砂防 CCTV 等設置工事	大沢川、足取川、風祭川

大沢崩れと御中道見学会

富士山の沢崩れは、今から約千年前から崩れが始まったといわれています。富士砂防工事事務所では、今年も大沢崩れと御中道見学会を4回企画いたします。

大沢扇状地クイズウォーク

地元のみなさんに富士山の砂防事業をより深く理解していただくために、富士山大沢崩れ下流域の広大な扇状地の中を、クイズを解きながら歩くウォーク大会を今年も企画しますので、ふるってご参加下さい。

ご協力お願いします。 砂防事業と海岸事業が連携

昨年2回にわたり、約40万立方メートルの土砂を捕捉した大沢扇状地内の砂防設備は、現在次の土石流に対応するため早急な除石の工事を必要としています。

富士砂防工事事務所では、この土砂を富士海岸へ運搬し、養浜材として利用するという海岸事業との連携を図っているところです。この土砂の運搬にあたり、沿線及び付近住民の方々、そして道路を利用される皆様には、ご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。



裏面地図のA地点 大沢扇状地の除石工事



裏面地図のB地点 養浜先の富士海岸

お知らせコーナー

第3回 富士山の手紙・絵コンクール

富士山から学んだこと…、富士山と地域を守ること…、美しい富士山をいつまでも残していくために…、富士山と共に生きる私たちのそれぞれの富士山への思いを手紙に、絵に描いて送って下さい。

応募要項

■富士山への手紙の部

応募資格 小学生以上の方ならどなたでも応募できます。

作品規格 一人1点(未発表のもの) ハガキ400字以内

■富士山の絵の部

応募資格 幼稚園児以上成人まで、どなたでも応募できます。

作品規格 一人1点未発表のオリジナル作品に限ります。

画材や表現方法に制限はありませんが、クレヨンなど他の作品を汚すおそれのある画材はご配慮ください。用紙は四つ切を使用して下さい。

応募方法 作品の裏面に応募票を貼付し、幼児、小、中、高校生の部：学校名、学年、氏名等を明記してください。成人の部：住所、氏名、年令等を明記してください。応募票がない場合は、別用紙に上記を明記してください。

審査賞 特にすぐれた作品を入賞作品として表彰します。審査委員長 村松友視(作家)

応募期間 平成10年7月1日(水)～9月16日(水)(当日消印有効)

応募先 〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地
富士宮市教育委員会 学校教育課
富士山への手紙・絵コンクール事務局

主催 富士宮市・富士宮市教育委員会・
(社)富士宮青年会議所・建設省富士砂防工事事務所



第二回

富士山の手紙・絵コンクール
幼児の部 最優秀賞
富士市立岩松幼稚園 五歳
功刀香奈さんの作品

お詫び

前号(平成10年3月1日発行 第18号)「富士山への手紙・絵コンクール」の記事で、富士山への手紙 中学生の部 優秀賞の西村美和さんの写真のところに誤って絵の部門の優秀賞 富士宮市立第四中学校 加藤陽子さんの写真を掲載してしまいました。大変失礼しました。改めて西村美和さんの写真を掲載致します。

また、最優秀賞作品の記事に次の誤りがありました。お詫びして訂正します。

誤 富士宮市立岩松幼稚園一正 富士市立岩松幼稚園



正しい写真

情報提供のお願い

●貴重な写真、資料等お持ちの方、また災害体験を有している方の情報提供をお願い致します。また、ご意見、ご質問をお受けいたします。

(連絡先)

富士砂防工事事務所

(建設監督官永井又は、調査課長奥田まで)

TEL0544(27)5221(内線542又は351)

■建設省富士砂防工事事務所

〒418-0004 富士宮市三園平1100 TEL 0544(27)5221

■富士宮砂防出張所

〒418-0103 富士宮市上井出826-1 TEL 0544(54)0236

インターネット

http://WWW2.Shizuokanet.or.jp/fujisabo/